

短歌

草津にて湯呑み茶碗を買い求め毎朝お茶を楽しみ飲む
色々の人に助けを受けながら感謝をしつつ日々を過ごし
子等の目は生き生きとし姿を追う優しく見守る保育士のあり

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十五号」から抜粋

本郷 本郷 本郷
湯浅悦子 木村百合子



Vol.265

厚高インフォメーション
Atsuma High school Information



学校の取り組みをご覧ください。
厚真高校ホームページ
http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/

■セーフティコールあつま (11月12日)
2年生が、町民と一緒に「冬の交通安全」の啓発活動を行いました。道路沿いに並び、大きな旗を掲げたり、手旗を振りながらドライバーに安全運転をアピールしました。寒い中、町民の皆さまお疲れさまでした。特に、これからの冬の時期

株式会社リクルートの岩崎千恵さんを講師に招き、2年生対象の進路ガイダンスを開きました。
演題は「未来に向けて今できること」。1年生で実施した適性診断や面談を通して、これからの進路選択をどのように考えるのかを知り、生徒自身に自ら考え行動してもらうことで、来年



進路ガイダンス

は路面状況が悪くなります。歩行や車の運転には十分に気をつけましょう。
■見学旅行保護者説明会 (11月16日)
名鉄観光サービス株式会社の高橋裕多さんを招いて放課後、2年生の保護者を対象にした見学旅行の説明会を開きました。新型コロナウイルス感染症の影響で、10月に予定していた見学旅行は、12月7日(火)～9日(木)となりました。見学先は、伊勢神宮や名古屋城などです。準備や留意点等について説明がありました。

■進路ガイダンス (11月16日)
度に進路決定につなげたいと考えています。
■後期中間考査 (11月24～26日)
本校は前期(4～9月)と後期(10～3月)の2学期制です。考査前の教室では、生徒たちが暗くなるまで残って主体的・対話的に学び合う姿が見られました。考査では、日ごろの学びの成果を発揮できたでしょうか。生きることは学ぶこと、学ぶことは生きることです。学ぶ姿勢が大事です。年度末の卒業・進級に向けて、さらに学び続けます。

発表します!! 将来の夢&目標

上厚真小学校6年



三上 あむさん



矢部 太朗くん



榎 陽葵くん

確定申告

令和3年分の所得税等の申告は2月16日(水)～3月15日(火)までです。

問い合わせ 苫小牧税務署 ☎0144-32-3165

オンラインを活用して感染防止!

国税庁ホームページでは、パソコンやスマートフォンなどから、所得税や消費税、贈与税の申告書を作成し、e-tax(電子申告)または印刷して郵送で提出することができます。

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、多くの方が訪れる確定申告会場ではなく、ぜひご自宅での申告書の作成と提出をお願いします。



詳しくはこちら

確定申告会場の開設期間等

確定申告会場を開設します。確定申告会場の混雑を回避するため、会場への入場には「入場整理券」(会場当日配布もしくは国税庁LINE公式アカウントで事前発行)が必要です。

- 申告相談会場 苫小牧市労働福祉センター 苫小牧市末広町1丁目15番7号
- 開設期間 令和4年2月1日(火)～3月15日(火) (土・日曜日・祝日等を除く)
- 相談受付時間 9時～16時



国税庁LINE公式アカウント

厚真町地域おこし協力隊
教育魅力化支援員

加藤 千昇さん(29歳)

着任 令和3年8月(1年目)
出身地 埼玉県さいたま市



「厚真町ではどのような取り組みをしていますか?」
厚真高校を盛り上げる「公営塾」を作るために活動しています。高校選択の際に「積極的に選ぶ理由」になる場所を作りたいと思っています。
「公営塾」の具体的なイメージは?
そこはまだ検討中ということになりますが、僕自身がいろいろ寄り道してきたこともあり、塾として勉強を教えること以上に、町の人に出会い、町を楽しむ機会を作ってはどうかと考えています。厚真町で生活する人と、高校生がつながる場所ですね。ただ、こちらからすべてを提供するのではなく、高校生たちと一緒に作りあげたい。彼らの話を聞くことから始めたいです。高校や地域とも連携して進めます。
「どのような寄り道ですか?」
高校生のときには勉強をせずに音楽にのめり込み、自分で曲を作り、作詞したイメージを膨らませて小説も書きました。大学時代に1年休学してインドネシアに留学したときに、自分は日本のことを何も知らないと感じました。現地の人は、一人一人が自分のルーツを明確に意識していますし、それ

をよく話します。日本のさまざまなお話を聞かれたのですが、しっかり答えられませんでした。
「その経験は今回の取り組みに影響がありますか?」
僕自身は、学校の外に出る機会を持ったことで人と出会い、視野や価値観が広がりました。公営塾が、生徒一人一人の選択肢を広げ、自分自身が「どんな人間になっていきたいか」をしつかり知り、夢や目標と向き合える場になればいいと思っています。
「町の印象はどうですか?」
まだ期間が短いですが、お会いした人たちは皆さん現状に甘んじないで未来をよりよくしたいとか、次の世代に何を残すかをしっかりと見据えている印象です。また、私としては、自然が大好きなので最高です。今は紅葉が綺麗だし、自然が日常の中にあることがうれしいです。既に寒さはちよっとつらいですけど...。
「3年後はどうなっていますか?」
3年後と言わず来年でもいいのですが、厚真町に関する本を書きたいです。きつと、このプロジェクトで得る経験も生かしたいと思います。